

延命寺報

# 慈光

令和元年7月  
第12号



雨水で地面が削れるのを防ぐため、庭の一部に砂利を敷きました  
白い砂利に緑が映え、以前より明るい雰囲気になりました

## 住職の一言

### 暑中お見舞い申しあげます

阿部雄峰

ジメジメして暑苦しい日が続いておりますが、いかがお過ごしでしょうか？

世間一般では、梅雨の時期を嫌う人が多いと思います。外に出かけられない。動くとは汗でベトベトになる。洗濯物を干しても乾きにくい。カビにも気をつけなければならぬ。そのように考えていると、梅雨の時期が憂鬱になってしまいます。昨年のように早く梅雨も開ければよいのに、なんて思ってみても自分の思い通りにはなりません。

禅語には有名な「日日是好日」の一句があります。これを毎日が大安吉日であると解釈すると、とんでもない間違いです。ままならぬ浮き世をどういう心持ちで過ごせば好日になるかを問うているのです。

作家の吉川英治さんは、この「日日是好日」の教えをこのように示しておられます。

晴れた日は晴れを愛し 雨の日は雨を愛す

楽しみあるところに楽しみ 楽しみなきところに楽しむ  
つまり、梅雨の時期は憂鬱だ、と思うのではなく、梅雨の時期を受け入れて楽しむのです。お気に入りの傘を使ってみる。本を読んで見る。映画を観る等々。

私はこの時期、よく庭を眺めて楽しんでいきます。本堂前の庭の苔が雨に濡れると、とても綺麗で、時間も暑さも忘れてずっと見ていられます。心が癒やされます。

ぜひ皆さんも、工夫して日日をお過ごしください。

合掌

## 心あたたまる読書感想文

先日、宮崎さんの一周忌法要を行いました。その際に、お孫さんが書かれた、読書感想文を見せていただきました。大変素晴らしい内容でしたので、ご紹介させていただきます。

「くもの糸」

三年 林依音里

わたしが、この本をえらんだ理由は、わたしのおじいちゃんが、先日なくなっておぼろさんに色々なことを教えてもらって、天国と地獄にきょう味を持ったからです。

おじいちゃんの名前は「文雄」と言います。わたしが小さいときに「おれのことを文様とよべ」と言われたので、それからずっと文様とよんでいます。

文様は、今ほどけ様になるためのしゅぎょうをしています。おきょうは文様へのおうえんだと言っていました。文様は、まず不動明王に会って、「いかりの心」「自分勝手な心」「むさぼる心」がいけないという教えをうけるそうです。むさぼるとは、ほしい、ほしいと欲ばることです。そして四十九日たったら、三すの川をわたるそうです。その間に

おしゃか様や、色々なほとけ様に会って様々な教えをもらおうそうです。

わたしは、文様の「むさぼる心」が一番心配です。なぜなら文様は、お酒が大好きで、わたしに「もう一ぱい」と何回もおかわりしたがついていけませんでした。

カンダタは、お金をぬすむために人をこらす、さい強の大どろぼうでしたが、一つよいことをしました。さいしよは、くもをふみころそうとしましたが、かわいそうだと思つて、くもをたすけたのです。わたしは、人ごろしをしたのに、くもをたすけるなんてしんじられないと思ひました。そして、おしゃか様がそれを思い出してくもの糸をくれました。

文様はカンダタみたいになすんだり、人をころしたりしないけど、カンダタと同じで虫をよく助けていたから、きっと天国へ行けると思ひます。文様は、天国へ行つてももやさしいほとけ様にぜつたいなれると思ひます。

カンダタがくもの糸を登ると、後ろからざい人たちが登ってきました。「こら、ざい人ども、このくもの糸はおれのものだぞ、お前たちは一体だれにきいて登ってきた、下りろ、下りろ」とカンダタが言うときくもの糸は切れてしまいました。わたしはチャンスをはがして、ざんねんで「アゝア」とい

う気持ち口に出してしまいました。やっぱりカンダタは、やさしさが無い人間だと思ひました。

わたしはおぼろさんのお話を思い出しました。「自分勝手な心」が多くてだめだったから、カンダタはじごくへぎやくもどりになつてしまったのだと思ひます。おぼろさんの話では、なくなつて三十五日目にえんま大王に会つて、天国に行くか、じごくに行くか、さばきをうけるそうです。

わたしは、ぜつたいじごくには、行きたくありません。理由は、ちの池や、はりの山でざい人たちが苦しむ様子がとてもおそろしくて、かわいそうだったからです。

わたしは、「いかりの心」「自分勝手な心」「むさぼる心」に気をつけて、百才まで生きたら、ぜつたい天国へ行きます！そして、また文様に会ひたいです。

依音里ちゃんは文様と同じように修行されているのですね。貪る心、怒りの心、自分勝手な愚かな心に耐え続けることで、亡き人は仏様になります。生きている者も同じように努力すると、よき人格を得て幸せな人生を歩むことができます。幸せに生きる姿は亡き人への報恩にもなります。天国の文様は、依音里ちゃんの日常を見て大変喜んでいますよ。



## 長男の得度式を行います

八月一日、朝八時より施食会の前に長男の得度式を行います。

「得度式」とは、師匠によって髪を剃り落としてもらい、僧侶として生きていくために必要な最低限のものをいただき、歴代の祖師たちが伝えてきた「戒法」と「血脈」とを受けて、正式に僧侶の仲間入りをする式です。

見学は自由ですので、よろしければ皆様にもこの祝儀を見届けていただけると幸いです。



慈峰十歳です。得度式頑張りますのでよろしくお願いたします。

## 永代納骨堂完成

以前より増改築のお知らせをしておりました永代納骨堂がついに完成しました。

屋根瓦を一部透明な瓦にすることで自然光が差し込む明るい空間になり、お参りに来られた方がほっとできるような、温かみのある納骨堂になりました。個人壇と家族壇があり、家族壇ではご夫婦揃ってから三十三回忌まで延長料無くご利用いただくことができます。子どももの有無に関わらず、最近新しいお墓のスタイルとして納骨堂を求められる方が多くなりました。お墓のことで相談したい方や納骨堂の見学希望の方はお気軽にご連絡ください。



千手観音を7月中にお迎えます

## 風鈴供養受付中

六月から風鈴供養が始まり、本堂ではたくさん風鈴が綺麗な音色を響かせています。

風鈴供養の受付は九月の彼岸明けまでとなっております、施食会でも申し込み可能です。戒名をご準備の上、受付にてお申し込みください。

(一霊につき千円・宗派不問)



表には戒名、裏には般若心経が書かれています

## 精進ごはんレシピ



葡萄の甘みと大根のさっぱり感が合わさってとても美味しいです。夏にオススメの一品です。

### 【葡萄と大根のみぞれあえ】

材料(4人分)

巨峰…20粒 大根…10ml 酢…適量 みりん…適量

作り方

- ①大根をすりおろし、眼の細かいざるで汁をこす。
- ②すりおろした大根の中に酢とみりんを入れる。
- ③巨峰の種をとり器に入れ、②を上にかけるように盛る



## お知らせ・募集

### ◆お地藏さま作りの会 メンバー募集

(活動日) 毎月第四土曜日

午後一時～午後三時頃

※ご自宅で作っていたただける方も募集中です

### ◆寺子屋講座「心が晴れる法話と写経」

(開講日) 毎月第三土曜日

午後一時～午後三時半

(受講料) 初回千五百円、二回目以降千円

子供無料

お経についての法話、簡単なイス坐禅、写経。

子供は写仏。

受講を希望される方は、お寺までご連絡ください。

## 編集後記

本堂前の芝が、肥料焼けしてしまいました！  
「芝が綺麗なお寺ですね」と、言っていたことが多かったので、とてもショックを受けています。  
なんとか、八月一日の施食会までに復活できるように努力してみます。

## 青林山 延命寺

☎ : 490-1115 愛知県あま市坂牧郷 30

☎ : 052-444-0109

※月参り・命日のお参りなど随時受け付けております。

<http://www.seirinzan.com> 検索は青林山延命寺